



広報

Nakagusuku

なかがすく



URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

No. 128
2004.9.17



九州制覇
全国大会ベスト4
おめでとう

野球・空手・陸上県制覇



おめでとう!!

7月28日、中城中学校野球部、空手部、陸上部が第31回沖縄県中学校総合体育大会の結果を新垣村長に報告した。また、野球部は九州大会でも優勝し全国大会ではベスト4となるなど中城の歴史に新たな一ページを記した。

空手部は男子総合と個人形で前原龍太郎くんが県制覇を成し遂げた。試合は常にプレッシャーとの戦いであったと比嘉盛一コーチ。キャプテンの前原くんは「悔いが残らないよう心がけ優勝できたのでよかった」と話した。続く沖縄県立武道館で開催された九州大会に出場し、団体形で四位という成績を納めた。

陸上部も県大会で男女総合優勝し、知念美和さんは「この結果に満足せず、残りの試合も全力を尽くす。目標は7本の優勝旗を勝ち取ること」と更なる記録更新を誓った。県代表として8名の選手が大分県で開催された九州大会へ出場し、健闘した。

野球部は33年ぶりに県大会決勝進出をはたし、圧倒的な強さで初優勝を飾った。米須聡監督は「これが中学

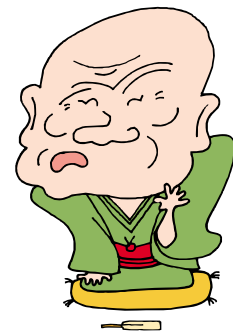
生か나と思うくらい精神的に成長し、一試合ごとにチームが強くなっていくのを実感した」と成長ぶりを誉めた。キャプテンの比嘉良征くんは「自分たちの思いどおりにプレーができた」とチームワークの良さを誇った。

具志堅興市校長は「全員この栄光を勝ち取った。素晴らしい生徒たちです」と快挙をたたえ、新垣村長も中城村始まって以来の大活躍を絶賛した。



九州大会も制覇 (野球部)

全国大会ベスト4



よち寄席芸能鑑賞

文化庁の本物の舞台芸術を体験する事業の一環として8月5日、吉の浦会館で寄席芸能鑑賞が行われた。この事業は次の時代を担う子どもたちに本物の技術や芸能に触れる機会を設けて感性を育てるために行われているものである。

出演者は落語界の四天王と称される桂春団治さん、桂米輔さん、笑福亭仁智さん。また、日本手品を帰天齋正紅さん、曲芸を海老一鈴娘さんで、見事な芸を披露してくれた。上方落語について入門講座もあり

笑福亭仁智さんが、扇子や手拭いを使っていろいろなものを表現する「仕草」を紹介した。また、三味線や太鼓、笛などの和楽器を使った寄席離子(よせばやし)についても解説した。叩き方一つで、小川や海の表現など違った効果音が鳴ることに観客は感激していた。

その他、体験コーナーでは観客等が実際に扇子を使ってそばをたべる表現に挑戦した。米須清吾くんは「そばをすすめる音を出すのが難しかったがおもしろかった」と話した。





交流

交流を通して他県の文化や歴史を学び、21世紀を担う豊かな人材を育成しようと、中城村の児童生徒と千葉県飯岡町、福岡県方城町の児童生徒との交流がそれぞれ7月28日、8月21日に

千葉県飯岡町 児童交流



平成10年から行っている千葉県飯岡町の児童と中城村の児童の交流会が7月28日行われた。今年で7回目を迎える。

飯岡町からは20名の児童等が訪問。飯岡町三川小学校の小沼紘子さんは「2月に中城村の皆さんと会って早く沖縄に行きたいとこの日を楽しみにしていました。沖縄の文化をたくさんさん体験したい」とあいさつ。津覇小学校の狩俣有花さんは「飯岡町のみなさんが来るのを楽しみにしていました。ゴーヤーやナーベラーなど沖縄の珍

福岡県方城町 児童交流

福岡県方城町の児童24名が8月21日、中城村を訪れた。方城町とは「城」という文字が縁で交流が始まり、今年で10回目を迎える。村子連新垣勇会長は「今年もみなさんに会えて嬉しい。思い出をたくさん作ってくだささい」と歓迎した。また、方城町の廣渡義則さんは「この交流が来年も続くように頑張りたい」とあいさつした。

しい食べ物や飲み物を食べて下さい」と歓迎した。子どもたちは自己紹介、名刺交換をし、ゲームなどで交流を深めた。会の最後には飯岡町の児童も交えてのエイサーで友達の輪を広げた。新垣村長は「飯岡町と10月に友好交流町村提携を結び予定で準備を進めている。今後も交流が続くことを願っています」とあいさつした。また、飯岡町の田村和夫教育長も今年も交流ができたことを喜んだ。



2泊3日の予定で訪れた一行は、初日は村内の家庭で一泊となっており、受入家庭との対面を終えた後、吉の浦会館で津覇の子ども獅子舞、奥間空手、和宇慶護佐丸太鼓の演舞を鑑賞した。方城町の池永大輔くんは「沖縄のエイサーや獅子舞を見るのは初めて。みんなすごく上手でびっくりした。ゴーヤーにもチャレンジしたい」と話した。子どもたちは短い時間ですがうちとけ、たくさんの友達を作っていた。

平和を学ぶ

～長崎平和学習特使に小中学生3名を派遣～



中城村は、長崎県で開催された非核宣言自治体全国大会と平和学習フィールドワークに村内の小・中学生3名を平和推進特使として派遣した。今年度平和推進特使として派遣されたのは、中城小学校6年生我那覇純都さん、津覇小学校6年生国吉葉奈さん、中城中学校3年生仲村譽里子さん。

任命式で新垣清徳村長は「長崎で勉強したことを友達や家族、周囲の人たちに伝えてください」と話した。また仲座盈助教育長も感じた事をそのまま伝える事だけでも大切だと話した。3名を代表して仲村譽里さんは「戦争で亡くなった人たちの命を無駄にしないようにしっかり勉強します」と抱負を語った。

平和学習に参加して

中城小学校六年 我那覇 純都

私は長崎へ行き、平和の大切さ、戦争の恐ろしさ、原爆の脅威を改めて追体験してきました。

長崎へついてその翌日、7月30日青少年プログラムに参加して原爆資料館(国立長崎原爆死没者追悼平和記念資料館)の交流ラウンジでビデオ・ナガサキの少女少女たちを見ました。ビデオでは、高校生が兵器工場働いていました。それに原爆が落とされて、刑務所の中にいた人や病院の患者、医者、看護婦が逃げきれずにたくさん亡くなっていったそうです。それでも生き残った看護婦や医者は次々と運ばれてくる患者を手当したそうです。そして、次に原爆の犠牲になってしまった方(被爆者)の体験談を聞きました。その方の話は前に読んだことがありますが、たぶん「SSちゃん」とゆめくいくも、だっと思ひます。

そしてその方は最後に「原爆によって、生きたくても生きられなかった人たちの骨を踏みつけてあなたちは生きていくのだから、決して自殺などしないで下さい」と泣きながら話してくださいました。その追体験で一番印象に残りました。

その後資料館内を見学しました。見学して一歩ずつくりしたのには、熱でドロドロに溶けて2、3個固まった口ザリヤや歪んだ橋の標札、ぐにゅとひん曲がった弁当箱、資料を見ると頭蓋骨の付着した鉄かぶともあったようです。資料を見て、放射能で白血病がおこることも分かりました。

そしてその後、追悼空間で一分間の黙禱をしました。その次には、城山小学校にあ

る城山小平和記念館を見学しました。そこで分かったのは原爆が落ちる5、10分前に空襲警報が解除されて、壕から安心して出てきたところに原爆が落ちて亡くなったり、建物の下敷きになって身動きがとれず、まわってきた炎で焼け死んでしまった人がたくさんいたことです。

そして浦上天主堂へ行ったり爆心地へ行ったりしました。爆心地には、亡くなった人の名簿が置かれていました。最初私は、原爆は地面にぶつかって爆発するものだと思っていたのですが、地上500mで爆発することがわかりました。

7月31日、平和記念像と平和の泉、刑務所跡地へ行きました。平和記念像は、北村西望作で天を指す右手は原爆の脅威を水平にのびた左手は恒久平和を軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈る心を表しているそうです。あと、平和の泉の噴水は鳩の形をしていました。長崎に水を使ったモノコメントが多いのは水を飲めずに亡くなっていった人が多かったからだそうです。

そして、刑務所では、たくさんの方々が捕まっていたそうです。原爆が落ちても、逃げることもできずに亡くなっていったそうです。

私は、この長崎の原爆について学んだ平和学習とおして、核爆弾の恐ろしさ、放射能の怖さを知りました。

この体験を見、聞いてきたとおりに親、いとこ、親戚、友達に一人でも多く原爆の恐ろしさを伝えたいです。そして、世界中に友達をいっぱい作って少しでも戦争をこの地球からなくす手助けをしていきたいと、この追体験をおして思いました。大人になったら、世界中の国にいっぱい旅行に行つて、多くの国で何十人も友達をつくりたいです。



第6回中城文化まつり展示部門

作品募集

- 作品の種類** 第1類～第4類（一般・高校生）・第5類（児童・生徒）
 第1類……書道、写真、絵画 第2類……手工芸品、創意工夫作品
 第3類……生花 第4類……漆器、陶芸、工作、彫刻
 第5類……図画（なるべく中城城跡、文化財、伝統芸能等）、書道（自由）
- 作品の規格** 第1類（書道、写真、絵画）
 写真……全紙サイズ 絵画……100号内（ちぎり絵、墨絵等を含む）
 第5類（図画、書道）
 図画……四つ切り画用紙
 書道……小学校1年生～3年生……半紙
 小学校4年生～中学校3年生……画仙紙
- 応募点数** 一人一種につき2点以内とする。（原則として全品展示）
- 応募資格** 中城村関係者（住所か本籍を有する者又は本村出身者並びに村内の教室で学ぶ者）で応募者自身の作品とする。
- 作品の申込** 第1類～第4類 平成16年10月31日（日）午後5時（電話での申込も可能）
 第5類（児童・生徒） 平成16年10月25日（月）までに学校へ提出
- 作品の搬入** 第1類～第4類
 応募者自身で下記のとおり搬入する。ただし生花については11月20日（土）午前9時～午前11時までとする。
 日 時 平成16年11月16日（火）・17日（水）午前9時～午後5時
 場 所 中城村民体育館
- 展 示** 第6回中城文化まつりで展示する。
 日 時 平成16年11月20日（土）午後1時～午後7時
 平成16年11月21日（日）午前9時～午後6時
 場 所 中城村民体育館
- 審査・表彰** 第1類～第4類までは、審査及び表彰を行わない。
 第5類については、学年ごとに金賞（2点）、銀賞（4点）、銅賞（6点）、入選（8点）。
- その他** 応募作品の取扱いは、最大の注意を払うも、不可抗力により生ずる損傷については、その責任を負わない。
- 問い合わせ** 中城村教育委員会 生涯学習課 文化係（Tel. 895-3707）

..... 太神内のみ記入ください

出品票（第 類）			※事前に作品裏面の右上部分にお貼りください。			※事前に作品裏面の右上部分にお貼りください。				
受付番号	作品題（ふりがな）	サイズ	受付番号	住所	氏名	作品題	受付番号	住所	氏名	作品題
氏名（ふりがな）		住 所								

..... きりとり

作品預り証（本人控え）

受付番号	作 品 題	出品者氏名

母と子を支援

母子保健推進員のみなさんです。

母子保健推進員は、村と乳幼児をもつ母親とのパイプ役として村から依頼を受けボランティアで活動をしている方々です。妊娠から出産、育児期間を健康で安心して過ごせるために、母親の身近なところで育児の相談を受けたり、育児不安をもつ母親を支えたり、また家庭や地域の人々に対し、母子保健に対する啓蒙活動を行っています。また村で実施している母子保健事業を、対象者が十分活用できるよう乳幼児のいる家庭を訪問したり、健診会場での身体測定等のお手伝いをしています。

訪問で知り得た秘密は守ります。お気軽にご相談下さい。 健康福祉課 895-2131(263)

 (伊 集) 井口美枝子	 (和宇慶) 城間 房子	 (南 浜) 謝敷 妙子	 (北 浜) 仲松千恵子	 (津 覇) 呉屋 信子	 (津 覇) 玉那覇秋
 (奥 間) 儀間 勝子	 (浜) 伊集 順子	 (安 里) 呉屋 光子	 (当 間) 下地はるみ	 (屋 宜) 渡嘉敷ひとみ	 (添 石) 中村 正子
 (伊舎堂) 比嘉加代子	 (泊) 比嘉 澄子	 (久 場) 新垣 光子	 (久 場) 宮城 初子	 (登 又) 屋良 梅子	 (新 垣) 伊佐 博子
 (北上原) 桃原由美子	 (南上原) 石原 侑子	 (南上原) 比嘉 静江	 (中城団地) 新垣 敬子	 (サンヒルズ) 伊志嶺紀子	 (中城第2団地) 喜友名礼子



案内・お知らせ

試験

平成16年度
第2回危険物取扱者試験

日時：12月12日(日)午前10時
種類：甲種、乙種(第1～6類)
丙種

会場：南部農林高校、沖縄国際
大学他

受付：11月1日～8日

願書は消防試験研究セン
ターへ郵送又は直接持参
要項：各消防本部、消防試験研
究センター他で配布

【お問い合わせ】
(財)消防試験研究センター

沖縄県支部
那覇市旭町一六二〇
自治会館5F

電話 867-5332

URL www.shoubo-shiken.or.jp



相談

行政相談週間が始まる

医療保険・年金・老人保健・
福祉・雇用保険・交通安全・
恩給・公害・道路・環境衛生・

登記など行政相談員が相談に応
じています。相談は無料・秘密
厳守です。

とき：10月18日～24日
相談員：桃原廣一さん
895-5674 (自宅)

行政書士業務無料相談

身近な街の法律家を活用してい
たく目的で、下記のとおり行
政書士無料相談会を実施してい
ます。

場所：沖縄県行政書士会館

浦添市伊祖4丁目6番2号

電話 870-1488

FAX 876-8411

開催日：毎月第二又は三月曜日

9時～17時(秘密厳守)

主な相談内容

①各種営業許可、登録を受けた
いとき

建設業の許可

農地転用手続き・開発行為許
可申請

相続遺言等に関する事項

法人を設立したいとき

自動車の登録・一般貨物運送
許可申請

交通事故の相談

産業廃棄物処理

契約書、示談書等の作成

新潟県・福井県・徳島 県義援金への協力願い

新潟県では、去る7月13日か
らの梅雨前線に伴う豪雨と福井
県では、去る7月18日からの豪
雨、徳島県では7月30日からの
台風10号により、各地で多くの
被害が生じ、現在も多数の住民
に不安感や精神的な苦痛をもた
らしています。

この災害にともない、災害救
助法が適用され、全国で被災地
への災害活動が展開されること
となりました。

つきましては、本村において
も中城村分会で義援金募集活動
を実施するにあたり皆様方のご
協力をよろしくお願ひ申し上げま
す。

無料調停相談

その他、官公署へ提出書類に
ついて

コザ調停協会では、土地、建
物、交通事故、金銭の貸し借り
等の物事で困っている人や離
婚、相続、遺産分割などの家庭
内の問題で悩んでいる方々を対
象に無料調停相談を行っています
。尚、調停相談の内容について
の秘密は厳守されます。また、
事前受付は致しませんので当日
会場で受け付けます。

日時：10月1日(金)

午前10時～午後4時

場所：沖縄市農研研修センター

【お問い合わせ】

沖縄市登川一三八〇番地

電話 938-9121

お知らせ

中部トリムマラソン

大会開催

【期日】

11月14日(日)雨天決行

【場所】

沖縄県総合運動公園陸上競技場

【種目】

20km 10km 5km 3km 2km

【申込み方法】

所定の申込用紙に必要事項を記
入し参加料を添えて直接持参又
は郵送で申込み下さい

【申込先】

県総合運動公園陸上競技場

電話(930-8701)

琉球新報社事業局

電話(865-5253)

ラジオ沖縄製作事業部

電話(869-2204)

インターネット

http://www.sportsentry.ne.jp

【申込み期間】

平成16年10月1日～17日

【お問い合わせ】

中部トリムマラソン大会事務局

電話(932-5114)



クリーン月間」です。

受信障害については、「沖縄
受信環境クリーン協議会」また
は「放送局」へご相談ください。

【お問い合わせ】

沖縄受信環境クリーン協議会

(企画担当事務局)

那覇市東町26-29 4F

総務省 沖縄総合通信事務所

情報通信課内

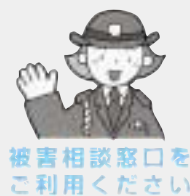
電話 865-2307

FAX 865-2311

オータムジャンボ宝くじ

『9月27日(月)発売!』

この宝くじの収益金は市町村
の明るい街づくりや環境対策、
高齢化対策など地域住民の福祉
向上のために使われます。



被害相談窓口を
ご利用ください

困っている場合はここに電話を

警察安全相談 #9110 (全国共通)

863-9110 (警察本部)

898-0110 (宜野湾警察署)

各種相談窓口

性犯罪被害者専用 868-0110

ヤングテレホンコーナー(少年の悩み事
や保護者等の抱えている少年問題等)

フリーダイヤル0121-276-556

又は862-0110

暴力団情報110 862-0007

悪質商法110番 861-9110

関係機関・団体の相談窓口

(社)沖縄被害者支援ゆいセンター

(犯罪の被害にあった方やその家族のため
の相談電話) 866-7830

暴力団情報・相談 868-0893

交通相談 868-2291

犯罪被害者給付制度

犯罪被害者給付制度は、故意の犯罪行為
により死亡された被害者の遺族の方や重
傷病を負い、若しくは障害が残ること
となった被害者の方に対して、国が犯罪被
害者給付金を支給する制度です。

犯罪被害者給付金には

遺族給付金(遺族の方に支給)

重傷病給付金(被害者本人に支給)

障害給付金(被害者本人に支給)

の3種類あります。

支給の対象となる要件、程度及び申請手
続きについては最寄りの警察署か下記に
お尋ね下さい。

県警察本部広報相談課犯罪被害者支援室
098-862-0110(2173)

指定被害者支援要員制度

警察では、被害者にあわれた方やその遺
族に対して、事情聴取、実況見分、病院
等への付き添いやいろいろな相談に応じ
るなど、被害者を支援するための要員
(指定被害者支援要員)を各警察署等に
おいています。

被害者等カウンセラー制度

県警察では、被害者等の精神的被害の回
復・軽減を図る目的で、精神科医や臨床
心理士の資格をもつカウンセラーが専門
的な立場から相談を行っています。

☆ 下水道 青い地球の 交通網 ☆



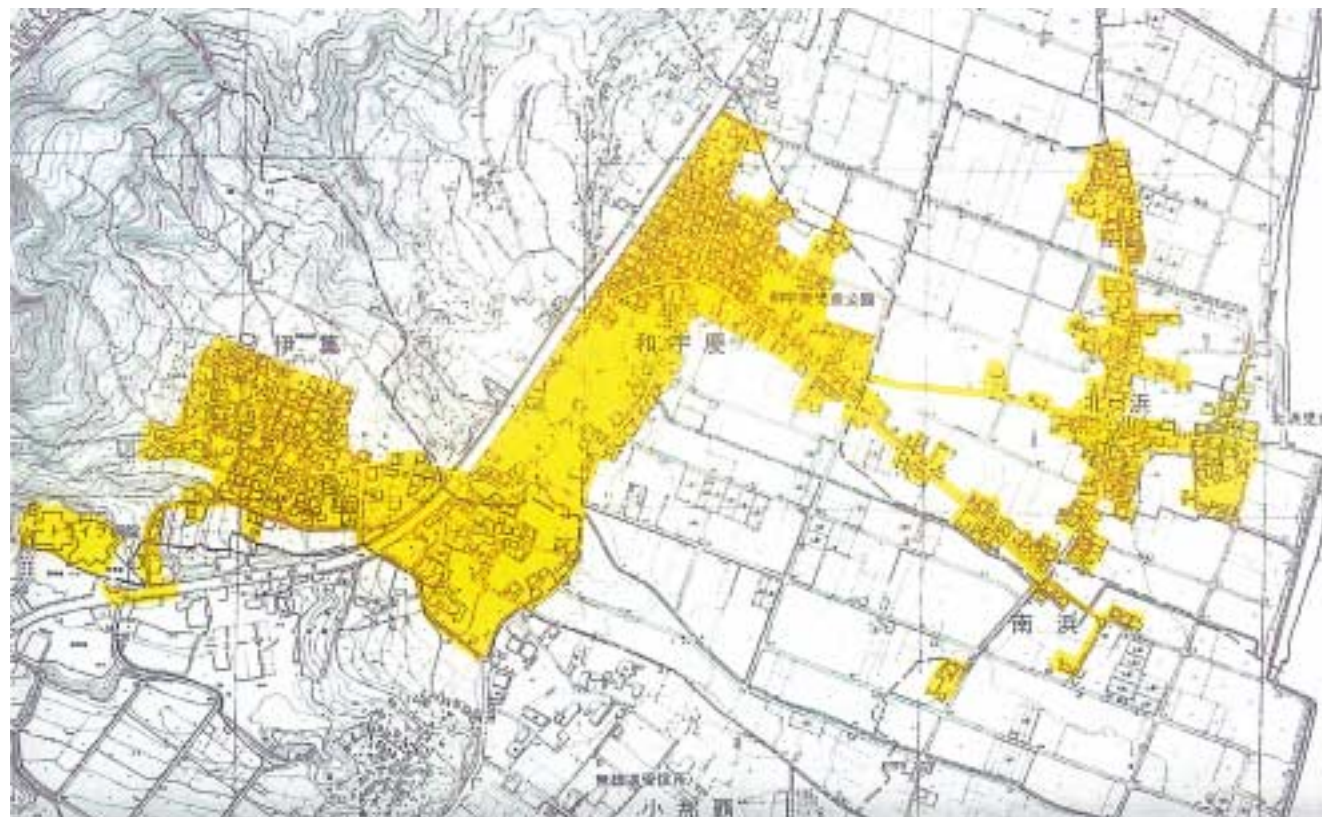
下水道は、住民に安全で快適な生活を確保し、河川、海等の公共用水域の水質汚濁防止など、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。

中城村では平成8年度から事業を進めてきました。平成14年4月には（伊集・南浜・北浜・和宇慶一部地域を除く）供用開始がスタートしています。供用開始地区にて下水道への接続がまだな世帯は早めの接続をお願いいたします。

また既に下水道を接続されている世帯は快適な環境を永く保てるように、ルールを守り大切に使いましょう。

融資制度

今まで使用していた汲み取り便所を水洗化トイレに改造したり、し尿浄化槽を廃止して公共下水道に直結したりする場合には、工事に対する費用を30万円を限度に村が無利子で融資あっせんを行う制度も設けています。



上記の図面はあくまでも目安として参考にして下さい黄色で塗り潰されている部分が供用開始地区です。（平成16年9月現在）上記の図面ではっきり供用開始されているか分からないなど、又下水道に対して疑問等がありましたら、下記までご連絡ください。
中城村役場 都市計画課 下水道係 TEL 8 9 5 2 1 3 1内線（2 8 1）

☆ 9月10日は下水道の日です ☆

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

1 金 8月18日 先勝	労働衛生週間	22 金 9月9日 大安	
2 土 8月19日 友引	乳児一般健診（吉の浦会館） 平成16.4.4～平成16.7.2生 [受付 13:00～13:30] 平成15.11.4～平成16.2.2生 [受付 14:00～14:30]	23 土 9月10日 赤口	
3 日 8月20日 先負		24 日 9月11日 先勝	芸能の集い（村婦連）
4 月 8月21日 仏滅		25 月 9月12日 友引	
5 火 8月22日 大安	浜ふれあい事業 健康相談日 [9:00～11:00] 役場 南上原ふれあい事業	26 火 9月13日 先負	健康相談日 [9:00～11:00] 役場
6 水 8月23日 赤口	母子保健推進員定例会	27 水 9月14日 仏滅	リハビリ教室 [13時～17時] 吉の浦会館
7 木 8月24日 先勝	3歳児健診（吉の浦会館） 平成13.2.27～平成13.4.7生 [受付 13:30～14:30]	28 木 9月15日 大安	
8 金 8月25日 友引	健康生活推進員定例会	29 金 9月16日 赤口	
9 土 8月26日 先負		30 土 9月17日 先勝	
10 日 8月27日 仏滅	目の愛護デー 村民軽スポーツ大会（生涯学習課）	31 日 9月18日 友引	
11 月 8月28日 大安	体育の日 親子野球大会（村子連）	1 月 9月19日 先負	
12 火 8月29日 赤口	当間ふれあい事業 健康相談日 [9:00～11:00] 役場	2 火 9月20日 仏滅	浜ふれあい事業 健康相談日 [9:00～11:00] 役場 南上原ふれあい事業
13 水 8月30日 先勝	リハビリ教室 [13時～17時] 吉の浦会館	3 水 9月21日 大安	文化の日 村功労者表彰式（総務課） ジャガイモ植えつけ（村子連）
14 木 9月1日 先負	歯科検診（吉の浦会館） 平成15.8.13～平成15.10.14生 [受付 13:00～13:30] 平成14.4.13～平成14.6.14生 [受付 14:00～14:30]	4 木 9月22日 赤口	
15 金 9月2日 仏滅		5 金 9月23日 先勝	ポリオ予防接種（村民体育館） 3ヶ月～90ヶ月児 [受付 13:00～13:30] 村童話・お話・意見発表大会（村P連）
16 土 9月3日 大安		6 土 9月24日 友引	
17 日 9月4日 赤口		7 日 9月25日 先負	
18 月 9月5日 先勝		8 月 9月26日 仏滅	
19 火 9月6日 友引	奥間ふれあい事業 北上原ふれあい事業 伊舎堂ふれあい事業	9 火 9月27日 大安	当間ふれあい事業 健康相談日 [9:00～11:00] 役場 奥間ふれあい事業
20 水 9月7日 先負	カジマヤ	10 水 9月28日 赤口	
21 木 9月8日 仏滅		11 木 9月29日 先勝	1歳6ヶ月児健診（吉の浦会館） 平成15.3.10～平成15.5.11生 [受付 13:30～14:30]

中城村の人口
平成16年8月末現在

人口	15,507 (+33)
男	7,925 (+15)
女	7,582 (+18)
世帯数	5,263 (+17)

()内は前月との比較

青少年育成村民会議では、昭和49年に竹田幼稚園園長竹田定英氏（神奈川県）から芳志のあった百万円をこれまで青少年のための基金としてきました。このたび、両小学校及び中学校の図書購入費にあてることになりました。



ありがとうございました
新垣秀夫氏 図書70冊
（平成16年3月22日）
上原清善氏 図書45冊
（平成16年8月17日）
本村の児童生徒のため大いに活用させていただきます。
教育委員会

むらの話題 Topics



8月9日・27日

健康づくりと交流を

老人クラブでは、健康増進と交流を図ろうと7月29日、ターゲットバードゴルフ大会を行った。
ターゲットバードゴルフは、バドミントンの羽根のようなものをつけたゴルフボールをゴルフクラブで打ち、傘を逆さにしたようなホールに入るまでの打数を競うゲーム。特殊なトレーニングなどしなくても、誰でも気軽に楽しめるニュー・スポーツとして人気がある。

ゴルフの経験がない女性の参加者等は思うようにボールを打つことができず、珍プレーがでるたびに笑い声が吉の浦公園に響いていた。

【結果】(団体) 1位 = 和宇慶、2位 = 北上原、3位 = 伊集
(個人) 1位 = 新垣忠市(和宇慶)、2位 = 仲間良幸(和宇慶)、3位 = 伊佐善希(新垣)

8月27日には、同クラブの輪投げ大会も行われた。13チームが参加し、どのレーンも熱戦が繰り広げられ、津覇チームが109点で初優勝を飾った。

【結果】(団体) 1位 = 津覇、2位 = 伊舎堂、3位 = 登又
(個人) 1位 = 新垣会芳(津覇)、2位 = 新垣賢夫(当間)、3位 = 呉屋栄信(添石)



8月5日

車椅子バスケットを通して交流を

中城村・北中城村両社協は、8月5日から2日間にわたり、中高生を対象にボランティア講座を開講した。

初日は、車椅子ツイーンバスケットチーム沖縄フェニックスのメンバーとゲームをして交流を深めた。

中城中学校から参加していた上地菜月さんは「車椅子バスケットをしたのは初めて。思ったよりも体力を使うので驚いた」と話した。

午後は実際に屋外でバリアフリーチェックを行い2日目のワークショップで意見交換をした。その他、比嘉恵美子さん、上里直子さん、与座健作さんの3人が「みんなちがって、みんないい!」と題して講演を行った。



8月13日

佐渡山美智子さんを招いて

8月13日、吉の浦会館で中城村学力向上対策推進協議会と西原町地域教育連絡協議会が主催し、講師の佐渡山美智子さん(フリーアナウンサー)が「みんなちがって、みんないい!!」の演目で講演を行った。会場には教育関係者など200名が参加した。

佐渡山さんは現在、子供たちの夢を育てる番組「オレンジタマゴ未来塾」を制作しており、その中でたくさんの子供たちに出会い、子どもの夢を叶える手伝いをしている。

番組を通して佐渡山さんは、大人は子どもが何を感じ、何を言おうとしているのかを感じ取るアンテナが必要ということを学んだと話した。そして「子どもはメッセージを必ず出しおり、信じてあげることから夢は育つ」と感情の変化に敏感になってほしいと語った。



8月31日

旧盆の行事開催

8月29日、旧盆の伝統行事である津覇エイサーの夕べが行われた。多くの区民が参加し、青年会エイサーや子ども獅子舞などが披露された。

また、旧盆明けの8月31日(旧7月16日)には当間の綱引きも行われ、区民総出で綱を引き融和と五穀豊穡を願った。小林流中城比嘉空手道場や琉球南太鼓の会の演舞もあり、会場は盛り上がりを見せた。

その他、和宇慶でも旧盆の行事が行われ、全島獅子舞コンクールに出場する新しい獅子舞が披露された。



戸籍情報

システム稼働

近年の情報化に伴い行政サービスの効率化を図るため、8月2日中城村では戸籍情報システムが導入された。新垣村長は「システムの導入により、質の高い行政サービスの提供したい」とあいさつ。

住民生活課によるとシステム導入により、証明書の発行時間が1〜2分ほどに短縮され、記載内容も項目化されわかりやすくなるという。また、「戸籍謄本」は「全部事項証明」に、「戸籍抄本」は「個人事項証明」に呼び名が変わる他、書式も見やすいように記述式の縦書きから項目別の横書きとなる。

電源立地

推進室設置

8月20日に行われた臨時議会で中城村課設置条例の一部が改正され、9月1日、新たに電源立地推進室が設置されました。

電源立地推進室は、沖縄電力の吉の浦火力発電所立地に伴い、組織の執行体制を強化し、事業の円滑な推進を図る目的で設置されます。

運動して健康な体づくり



7月末から3ヶ月間、和宇慶、伊集、久場、奥間、南上原公民館で操体法教室が開催された。自分の健康は自分でつくることを目的に健康体操を教えている。参加した知念さんは「無理なく肩・腰などの筋肉をほぐせ、体が楽になった」と話した。その他、水中運動教室には30名が参加。水中では陸上と違い腰への負担が軽減されるとあって高齢者の参加が多く見られた。

沖国大生が職場研修



8月9日から1ヶ月間、沖縄国際大学人間福祉学科の3年生、4名が中城村社会福祉協議会で職場研修を行った。武内勉さん(南上原)、比嘉哲也さん(伊舎堂)、新屋敷美乃さん(屋宜)、新垣勇樹さん(添石)の4名が研修を行った。新屋敷さんは「いろいろな人と触れ合うのが好き。毎日いろいろな行事に参加して楽しい」と話した。

親子でクッキング

親と子が健やかでたくましく成長することを目的に村国保では、健康づくり運動を推進しています。その一環として8月20日、栄養士の山里ゆみこ先生を講師に親子料理教室が開かれました。新垣セイラさん(小3)と大城アヤマさん(小5)は「家でも手伝いはよくしている。料理をするのが大好き」と慣れた手つきで包丁を操っていた。



フォトニュース



昔のおもちゃをつくって遊ぼう

8月25日、老人福祉センターで老人と子どもふれあいの集いが行われた。お年寄り、児童、PTA、民生委員等200名が参加。おじいちゃんや竹とんぼや水鉄砲を作ったり、おばちゃんからは折り紙やビーズの飾りを習ったりと子供たちはそれぞれ好きなものを一生懸命に作っていた。比嘉ゆうしくん(小3)は「なかなか切れない竹に悪戦苦闘。おじいちゃんの知恵をかりて、竹を切ることに成功した。」

ようこそマイケル先生

外国語指導助手のオリバー先生が3年間の任期を終え、本国イギリスへ帰国した。8月からはマイケルライオン先生が新たに英語教育にあたる。マイケル先生は「これまでの経験をいかし、英語教育に励みたい。また中城村の行事に参加し多くの人と交流も深めたい」と流暢な日本語で応えた。先生はアメリカ出身で中城村に赴任する前は2年間北大東村で教師を務めている。

